

かゑらじと かねて思へハ 梓弓
なき数に入る 名をぞとどむる
四條畷に散った若き武将、楠正行

楠正行通信 第99号

令和1年11月12日

発行＝四條畷楠正行の会

〒575-0021 四條畷市南野5丁目2番16号

四條畷市立教育文化センター内 072-878-0020

11/2 如意輪寺、14人参加で楠正行かるた大会

電通大コラボ 四條畷神社でポスターセッション 11/10

＝ 楠正行の顕彰活動、各地で開催 ＝

11月2日 如意輪寺でかるた大会

● トロフィーめがけて熱線繰り広げる ●

11月2日
(土)、午前
11時から、
吉野山如意
輪寺で「楠
正行かるた
大会」が開
催され、四
條畷楠正行
の会から扇
谷、国府、
土井、山添が協力、参加しました。



この日は、後醍醐天皇の御生誕を祝して毎年行われている菊祭りの2日目で、大輪の菊花が境内いっぱいに飾られる中、吉野山を中心に吉野の子どもたちや遠くは愛知県から参加した小学生ら14人が集まりました。

会場となった境内の報国殿には、保護者やロコミで集まった地域の人、そしてお手伝いいただく方々等約30人が見守る中、予選会が始まりました。

報国殿の大広間に、低学年8人、高学年6人がそれぞれ2組に分かれての絵札取りでしたが、字札の読み上げが始まると間髪を入れず大きな声で「はい!」と、元気に手を出す子どもの声が静寂の吉野山に響き渡りました。

続いて、予選を勝ち抜いた4人での決選です。

低学年・高学年それぞれ2人づつでの競技でしたが、さすがというか高学年が圧倒的な強さを見せました。

ここでお昼休憩に入り、如意輪寺の奥様を中心にご準備いただいた心づくしのおにぎり弁当、トン汁を、子どもも大人も同じテーブルで和気あいあいとにぎやかにいただきました。

せっかくの機会と、休憩時間を利用して子どもたちを宝物殿に誘導しましたが、子どもたちは、正行が辞世の歌を刻した板塀を見つけ、「さっきの絵札に出てきた扉と同じものや。」「あっ!文字が読める!」と、早速嬉しい反応!

「もっとやりたい。」「さっきは負けたけど、今度は絶対勝つ。」とせっつかれ、再び報国殿に戻って、全員が低学年と高学

年の2組に分かれてのかるた大会、最後の競技となりました。

表彰式では、加島副住職から、名人位認定証・トロフィーを授与、正行の会から、楠正行かるた、大判絵札、楠三兄弟物語イラスト冊子を贈呈しました。

◆名人位「正行キング」認定

なかやまりよう君 (5年)、なかやまりく君 (3年)

◆名人位「内侍クイーン」認定

つじむらあやめさん (5年)、やまもとののかさん (3年)

◆総合優勝 つじむらあやめさん

◆高学年の部 優勝 : つじむらあやめさん

準優勝: なかやまりよう君



◆低学年の部 優勝 :やまもとののかさん
準優勝:わたなべゆうき君 (3年)

「おっちゃん、また、来年もしてね。」と、嬉しい注文も飛び出しました。また、応援に来ていただいた大人の人からも「今日は子ども達に元気をもらいました。地域の歴史を伝承する良い取り組みですね。」などと感想が聞かれ、有意義な大会となりました。

この後、参加者一同、本堂に移り、楠正行公の法要が営まれ、子ども達も全員が正座しての参列となりましたが、「本堂に入ったのは、初めてや。」「すごい!」などと感想を漏らしながらも、神妙な面持ちで副住職の読経に合わせてのお祈りとなりました。

この日は予想を上回る子どもの参加があり、嬉しい一日となりました。この子どもたちが、やがて大人になって、この日の事を思いだし、語ってくれる姿を想像しながら吉野を後にしました。(前P写真:上から報国殿会場の様子、総合優勝のつじむらあやめさん、名人位認定で喜ぶ4人の子も達)

冒頭、木子香先生の訓示に続き、四條畷神社米村宮司からも「学生の皆さんの取り組みを精いっぱい応援し、協力させていただきます。」とエールを送っていただきました。

お蔭様で、七五三詣りで多くの参詣者が訪れる中、本殿前の中庭の半



11月10日 四條畷神社でポスターセッション

● 多くの参詣者と正行談義 ●

今年4月から取り組んできた、大阪電気通信大学・木子香教室と四條畷楠正行の会の産学連携事業「くすのき



まさつらポスター」が完成し、11月10日(日)、午前10時から12時までの間、七五三詣りで賑わう四條畷神社境内で、参詣者対象にポスターセッションを開催しました。

15人の学生が制作したA1サイズのくすのきまさつらポスター30枚を並べ、参詣した皆さんに、一人一人の学生が、自ら制作したポスターの思いや意図を説明しましたが、多くの人が足を止め、見入ってくださいました。

「知っているつもりでも、詳しく知らなかったことを、ポスターに教えられました。」「正行に寄せる学生の皆さんの熱い思いが伝わってきました。」などと嬉しい反応もあれば、「僕の知らないことをたくさん教えていただきました。大変勉強になりました。」と、学内では味わえない勉強の成果への生の反応に感激した学生の感想も聞かれました。

この日は、正行の会から6人が出て準備等応援、また市からは植田教育長、開教育次長、山本市民生活部長ら総勢12人も激励に駆けつけてくれました。

分を使ってのポスターセッションを無事終えることができました。ありがとうございました。

11月17日(日)には、神戸市・湊川神社でくすのきまさつらポスターセッションを開催します。多くの皆様のご来場をお待ちしております。

(写真:左:開会前に訓示する木子先生(中央)と米村宮司(左)、上から、ポスターセッションする学生、みんなで記念撮影。下:楠正行ポスターの完成を伝える産経新聞(2019.10.31朝刊))

(文責『四條畷楠正行の会』代表 扇谷昭)

力を解説する。中国からの留学生、戚雨萱さん(22)は「父の遺志を継いで戦った『高い志の人』と伝えたい」。

◆…南北朝時代の武将、楠木正成の嫡男・正行を扱ったポスター写真が完成し、11月10日に四條畷神社(大阪府四條畷市)、17日に湊川神社(神戸市)で展示される。

◆…正行は湊川で散った父の遺志を継いで室町幕府軍と戦い、四條畷の戦いで敗死。ポスターは30枚で、四條畷市の市民団体と大阪電気通信大が企画した。

◆…作製者の同大生15人が参詣客に魅

チャイルド